



### 防災組織連携し 500 食炊き出し 共助を育む力 in まさき

東日本大震災から1年となった3月11日、町内の自主防災組織が連携して、災害に備えた炊き出し訓練を行いました。

これは、住民の防災意識を高めようといわれたもので、町と町自主防災会連合会が一体となって行われた初めての訓練。災害後の「食」をテーマに、避難所での調理・提供を想定して行われました。

役場前駐車場に設けたテントで、被災地での炊き出し実績がある「石原軍団メニュー」からカレーライスと豚汁、また、道路網が寸断され、物資の輸送が困難な場合でも、地元でまかなえるよう、町特産の珍味や裸麦を使った「松前焼き」や「裸麦ぜんざい」など、4種類計500食を調理して来場者に提供しました。

会場では石原プロ所属の金児憲史さんや管理栄養士らによるトークショーもあり、被災地での体験を踏まえた支援の在り方や食事の栄養バランスのとり方などをアドバイス。防災グッズや、町職員が撮影した被災地の写真も展示しました。

訪れた人たちは、温かい食事を食べながら、平常時からの備えの大切さを確かめ合っていました。

イベントを通じて寄せられた義援金106,591円は、えひめ愛顔の助け合い基金へ寄付し、被災地を支援します。



④松前校区自主防災会は豚汁を作って配布 ⑤笑顔でカレーを食べる親子 ⑥炊き出しを受け取った大勢の参加者が義援金BOXに寄付してくれました ⑦炊き出しが完成すると、テントには長蛇の列ができました



### 北中PTA広報紙「みのり」が写真賞で全国表彰

第33回全国小・中学校PTA広報紙コンクール



平成22年度の北伊予中学校PTA調査広報部が作成した広報紙「みのり」が、「第33回全国小・中学校PTA広報紙コンクール」の中学校の部で「写真賞」を受賞しました。

このコンクールは、毎年、社団法人日本PTA全国協議会の主催で行われているもの。全国1,782校の中から、「みのり」が上位12点に選ばれました。県内の小中学校でも全国入賞は初の快挙。「みのり」は、写真の見せ方を工夫しており、子どもの表情を含め、楽しい誌面作りに寄与している

ことが高い評価を受けました。

22年度調査広報部長を務めた亀元靖永さん＝出作＝は、「調査広報部6人で紙面をリニューアルしたり、企画を組んだり、号外を発行したり。親の視点から、学校やPTA活動に興味を持ってもらえるような、楽しい紙面づくりを心掛けました。特に大切にしたいのが子どもたちの表情です。親は学校での子どもたちの生き生きした表情を見ることができませんから。時間をかけて、想いを込めて取り組んだことが評価されてうれしいです」と喜びを語っていました。



### 鶴吉環境保全会に特別賞

平成23年度農地・水保全管理対策中国四国農政局長特別賞

鶴吉環境保全会(峰岡良男代表)が、中国四国農政局長特別賞を受賞しました。この賞は、農地・水・環境保全向上対策事業に関連したもので、中国・四国の各県の団体に贈られました。鶴吉環境保全会は、非農家に対し活動参加を呼び掛けるため、生き物教室やレンゲ祭りを開催。地域への愛着づくりにつなげました。峰岡さんは「この事業を通じて農家、非農家関係なく、地域のみんなで地域の農業環境を守る意識ができてきた。これからも続けていきたい」と話していました。



### 共に生きる社会目指し 650人集う

男女共同参画ふれあいフォーラム

「平成23年度フレッシュ・リブまさき男女共同参画ふれあいフォーラム」は2月26日、松前総合文化センターで開催され、650人が参加しました。

記念講演では、作家の落合恵子さんが「今、共生の時～女(ひと)と男(ひと)が共に生きる社会～」の演題で、男女共同参画の視点から、自らの生き方と東日本大震災後の被災地の現状や絵本を贈る支援活動を、手紙やエピソードを紹介しながら話しました。「命のそばにいる女性が社会に出ていけないといけない。今までの風習に流されず、自分で考え、行動を起こして欲しい。その主役があなたです」と力強く訴えました。

座談会では、大会テーマ「男女がともに輝いて暮らせる町づくり」について、落合さん、白石勝也町長、フレッシュ・リブまさきの升田須賀子会長が、自身の考えを明確に示しました。白石町長は、「各種審議会、消防や救急などで女性の登用を推進している。女性ももっと多くの分野で積極的に参画してほしい」と意見を述べました。参加者は、うなずきながら熱心に聞き入り、男女共同参画社会への意識を高めていました。



### 黒田美勢子さんに知事表彰

平成23年度愛媛県政発足記念日知事表彰

県政発足記念日知事表彰は2月20日、県庁で開かれ、愛媛県レクリエーション協会副会長の黒田美勢子さん＝宗原＝が、教育文化部門で受賞しました。この表彰は、レクリエーション活動の普及啓発に努め、社会体育の振興に尽力したことに対し送られたもの。黒田さんは、レクリエーション活動に関する数多くの協会を設立し、指導者の育成に力を入れてきました。表彰を受け、「今後も子どもから高齢者まで楽しめる生涯スポーツとして、普及に努めていきたい」と意気込みを話していました。



④講演で観客に呼び掛ける作家の落合恵子さん ⑤休憩時には、ステージと客席が一体となって「エコ体操～地球にエコしょ！ええことしょ！」を実施。会場は、大いに盛り上がりました





## 通いなれた学舎巣立つ

卒園式・卒業式

町内の幼稚園、小中学校で、卒園式・卒業式が行われ、卒業生は思い出の詰まった学舎を巣立っていきました。



1\_園児代表で記念品を受け取る「ありがとうございました」古城幼稚園 (3/19)  
 2\_みんなで手を叩いて「さよなら僕らの幼稚園」松前幼稚園 (3/19) 3\_保護者が見守る中、堂々入場する松小生 (3/22) 4\_別れの挨拶を交わす卒業生と在校生 岡田小 (3/22) 5\_北伊予小では、一人一人が卒業証書を保護者の前で披露 (3/22) 6\_答辞「みんなに出会えてよかった。本当によかった」北伊予中 (3/16) 7\_「先生、ありがとうございました」岡田中 (3/16) 8\_校長先生の祝辞に聞き入る松中生 (3/16)



## 防災のちびっ子リーダーが卒団

松前町少年消防クラブ卒団式

「松前町少年消防クラブ卒団式」は松前、北伊予、岡田の各小学校で行われ、45人の消防クラブ員が卒団しました。消防クラブ員は学校内の防災リーダーだけでなく、地域や家庭のリーダーとしても活躍し、防火意識の啓発に努めました。

▼3月6日 松前小学校

▼3月16日 北伊予小学校

▼3月1日 岡田小学校

